

令和三年徳島県支部通信俳句大会成績

令和三年四月十三日

能村 研三選

特選 賀状書く日本中をゆき来して

井上暁美

偶数の安らぎにあり浮寝鴨

鈴木和恵

乳呑み子と母音で話す春隣

出見啓子

入選 つましきを美しきこととし寒の餅

谷中隆子

綿虫のたゆたひつつも飛ぶ力

加林悠

颯爽と生まれよ一句寒卯

駒木幹正

清々と野良打ち終へぬ寒茜

白川剛久

一陽来復空は冷たく澄み渡り

新井義典

寒の入り山の尖りのことさらに

西池みどり

なだらかな山端に一つ冬の星

西岡啓子

阿部 要特選

寒波来る庭の信楽狸にも

岡本比呂

錠剤の転がる寒さ一葉忌

林早苗

初日記覚悟の一字しるしけり

松本琴江

五味 靖特選

小生で始まる亡父の初日記

泉千草

何するも一つの机冬迎う

名田みや女

粕汁やむかし大砲打ちし父

松尾初夏

谷中 隆子特選

寒晴や牛舎の犬に吠えられて

牛島春江

冬の薔薇黒く咲こうとしているか

五味靖

何するも一つの机冬迎う

名田みや女

西池 冬扇特選

スピードを増して夜警の過ぎにけり

大西裕子

凍蝶の翅の鋭く欠けてをり

新開英毅

些細なる用に雪靴はきにけり

疋田宏美

西池 みどり特選

初日待つ熱くてならぬ紙コップ

五味靖

何するも一つの机冬迎う

名田みや女

懐炉貼るここら辺りが背の真中

西池冬扇

西本 潤特選

のつと出て力抜きたる大初日

阿部要

凍雲を砕きて入日差込みぬ

中村瑠実

寒の入り山の尖りのことさらに

西池みどり

福島 せいぎ特選

束の間の少女に返る竜の玉

戎谷利公

旅の手を濡らす蒙古の草清水

島玲子

掛け替へるマザーテレサの初暦

福島吉美

村上 和義特選

乳呑み子と母音で話す春隣

出見啓子

錠剤の転がる寒さ一葉忌

林早苗

二日はやにはか庭師が枝を剪る

山本瑤子

山田 讓太郎特選

凍蝶の翅の鋭く欠けてをり

新開英毅

偶数の安らぎにあり浮寝鴨

鈴木和恵

百歳へ一歩ふみだす初日記

西本潤

横井 知昭特選

のつと出て力抜きたる大初日

阿部要

水献る蛇塚石路の花日和

加林悠

銀行のシャッター開くを待つ四日

中川大典

高得点句

10点 何するも一つの机冬迎う

名田みや女

8点 偶数の安らぎにあり浮寝鴨

鈴木和恵

7点 凍蝶の翅の鋭く欠けてをり

新開英毅

6点 のつと出て力抜きたる大初日

阿部要

6点 束の間の少女に返る竜の玉

戎谷利公

- 6点 乳呑み子と母音で話す春隣 出見啓子
6点 寒の入り山の尖りのことさらに 西池みどり
6点 錠剤の転がる寒さ一葉忌 林早苗
5点 些細なる用に雪靴はきにけり 疋田宏美
4点 寒晴や牛舎の犬に吠えられて 牛島春江
4点 小生で始まる亡父の初日記 泉千草
4点 水献る蛇塚石路の花日和 加林悠
4点 初日待つ熱くてならぬ紙コップ 五味靖
4点 裁縫箱に五年三組針供養 高塚梨花
4点 凍雲を砕きて入日差込みぬ 中村瑠実
4点 懐炉貼るここら辺りが背の真中 西池冬扇
4点 百歳へ一歩ふみだす初日記 西本潤